

大幅増員と夜勤改善で、安全・安心の医療・介護を求める意見書

長寿世界一を誇る日本の医療は、長年にわたる社会保障費抑制政策の下でも、医師・看護師などの懸命な努力で支えられてきた。

しかし、医療現場は、長時間・過密労働に加え、医療技術の進歩や医療安全への期待の高まりなどで、医師・看護職員などの労働環境は厳しさを増し、離職者も多く深刻な人手不足になっている。医療現場の実態はかつてなく過酷になっており、全国各地で医師や看護師などの不足が深刻化している。

看護師など夜勤交替制労働者の労働条件を抜本的に改善し、人手を大幅に増やして、安全・安心の医療・介護を実現することが大切である。そのために医療・社会保障予算を先進国並みに増やし、国民が安心して暮らしていける制度が求められている。

よって、国においては、医師・看護職員などの大幅増員を実現し、安全で行き届いた医療・看護・介護の拡充を図るための対策を講じられるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年3月23日

愛知県丹羽郡大口町議会

(提出先)

衆議院議長	横路孝弘
参議院議長	西岡武夫
内閣総理大臣	菅直人
厚生労働大臣	細川律夫
総務大臣	片山善博
財務大臣	野田佳彦